

八幡南ボーイズ

今春全国8強 さらなる高みへ

練習場は、ベイ・ベイDの1.5倍!!グラウンド内外とも環境「花丸」

福岡県北九州市の中学硬式「八幡南ボーイズ」は全国大会の実績豊富な強豪チームだ。今年3月の「日本少年野球春季全国大会」では8強入りした。塾とも提携しており、勉強にも力を入れている。文武両道で日本一を目指す選手の思いを紹介する。(杉浦 友樹)

文武両道で日本三を目指す八幡南ボーイズ



八幡南ボーイズ

文武両道で日本一だ

セレクションなし各学年定員は20人
まるでプロ並みだ。今年で完成10年目を迎えた八幡南ボーイズの専用グラウンド、サウスポーはとにかく凄い。ベイ・ベイD約1.5倍の敷地に屋外練習場、同時に8人の投手が投球練習できるフルベン。サブグラウンドまで完備さ

長谷川(成績だんだん上がってる)



強豪の女團長、長谷川



ベイ・ベイDの約1.5倍の敷地がある専用球場。同時に8人の投手が投球練習できるフルベン

学習塾と提携 勉強にも注力

大島 定位置獲る

○…大島一稀(かずき)内野手(2年)は「野球がうまくなりたい。日本一になりたい」と入部を決意した。堅実な守備には定評があり



「レギュラーを獲ること。日本一を獲りたい」と言いながら練習している。今春の全国8強で分た」と高みを目指す。

ダル流フォームでエース制球改善
今春の全国大会では8強に食い込んだ。徳野監督は「少ししてっぺんが見えたかな。うちでも全国で通用すると思った」と手応えをつかむ。



身長175の長谷川一稀
身長175の長谷川一稀は、右利手。この夏にバドレースのダルビッシュ有を模したフォームにチェンジしたことで「コントロールが良くなった。見逃してくれる球が多くなった」と打者の対応で効果を感じている。捕手の長谷川は強肩強打が武器だ。「打撃が好き。肩の力も入った頃に比べ良くなった」と話した。西武の森友成に憧れており「肩も強くてフルスイング。ホームランも打てる」と目を輝かせた。

現在は紅白戦で実戦経験を積んでいる。10月上旬には大会に出場予定。勝負の来春、来夏に向け、最高の環境で準備を進める。

長谷川(成績だんだん上がってる)

選手には勝つのが目的だから、日本一になろう、と言っている。一生懸命やってくれています」と話す。この7年で春夏合わせて9度の全国出場とさまざまなサポートに結果で応えている。



奮闘をする但馬主将

ほかのチームにはない特色としては、野球だけではなく勉強にも力を入れている点が挙げられる。学習塾と提携し、上級生を中心に選んでいる。長谷川(舞手)(2年)は「練習終わりに行くこともありますが。成績もだんだんと上がっています」と話した。また、強豪チームが実施しているセレクションは開催していない。毎年定員は各学年20人まで。入部条件は「勉強も野球も一生懸命やる子(徳野監督)」。一先着順で埋まっていくという。